

勤労感謝の日 ○×クイズ 正しい文には○、間違いには×で答えて下さい

1	11月23日は『勤労感謝の日』でこの日は 国民の祝日 である。	○
2	1948年に国民の祝日として制定され、という趣旨は「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに (助け合う) 」というものである。	× 「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに 感謝 しあう」
3	11月23日は、もとは「 新嘗祭(にいなめさい) 」という日であったが、戦後に「勤労感謝の日」変更された。	○
4	「新嘗祭(にいなめさい)」とは 豊作を願うための祭り である。	× 新嘗祭とは天皇が日本国民を代表し五穀豊穡(豊作であること)そして命の糧を授けて頂いたことに対する神への 感謝を捧げるための祭り (宮中祭祀、日本の収穫祭)です。「新嘗」とは、その年に初めて収穫された穀物を食べるという意味で、新米を神様に供えて感謝し、人が初めて口にするという行事。
5	その年によって日にちが変わる祝日以外で勤労感謝の日と同じ23日が祝日なのは 秋分の日 である。	× 天皇誕生日12月23日 。秋分の日は9月22日。
6	勤労感謝の日の次の祝日は12月23日の天皇誕生日。ですが天皇誕生日の 次の祝日は成人の日 である。	× 元旦1月1日
7	勤労感謝の日の1つ前にある国民の祝日は 文化の日 である。	○ 文化の日 11月3日
8	デパートの松坂屋は 江戸時代からの呉服屋 である。	○ 織田信長の家臣であった伊藤蘭丸祐道(すけみち)が、1611年(慶長16年)に、清須から新しく城下町を築きつづあった名古屋に移り(いわゆる清須越)、名を源左衛門と改め、本町に店を構えて呉服小間物商の看板を掲げました。これが、松坂屋の前身であるという呉服店の始まりです
10	江戸時代の勤務時間は、農家は大体朝6時～晩9時位が一般的で、休みなしに働いていたが、武士の隔日勤務、 10時ごろ登城して3時には下城 していた。	○ ちなみに奉行所は各月交代。商・工は日の出から日の入りまで、夏長く、冬短い。農家は日の出から日の入りまで、夜なべ仕事がある。休みなし。
11	明治時代の中期以降は産業が発展してきて 工場労働者 が増えた。	○
12	大正時代には、工場労働者の搾取が酷くなり、労働時間が一日 15～6時間 といったこともあった。	○ 大正時代＝工場労働者の搾取が酷くなり、女工哀史に知られるごとく朝は7時から夜は10～11時まで、休日は正月・盆 小正月のみといったこともあった
13	昭和時代も勤務状況は 終戦まで ほぼ大正時代と同じ、だったが、戦後マッカーサーの民主政策で、勤労者は一日 8時間労働 となっていた。	○ 一日8時間労働、日曜休み、土曜一部の会社は半休
14	昭和10年以降から週休2日制 が一般的になってきた。	× 昭和40年以降から週休2日制 が一般的になる。事務所にエアコンが設置され始める。工場は50年頃、求人難のため、現場従事者が不足し、対策としてエアコンが配備されだす。